

338.06
To46
⑦



0029161000

0029161-000

338.06-To46ウ

東京銀行集会所一覽

東京銀行集会所・編

東京銀行集会所

昭和9年5月

昭和9

ADI

25.11.28

1A 680



東京銀貨會所一覽

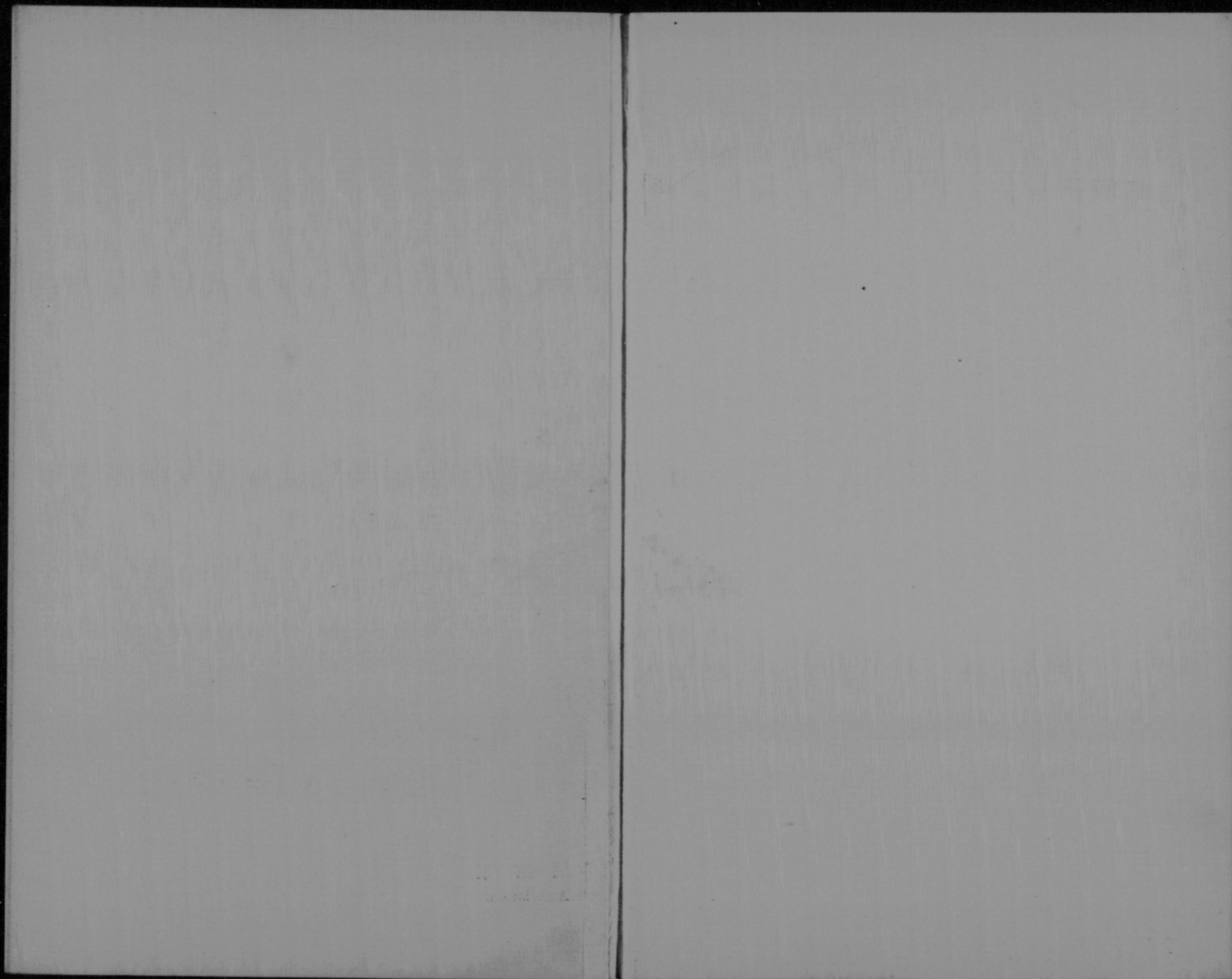
(昭和九年五月)

11. 580



東京銀業會所一覽

(昭和九年五月)





所會集行銀京東
(The Tokyo Bankers Association.)

338.06
T046

目次

一、社團法人東京銀行集會所定款……………一

 社團法人東京銀行集會所職員……………一六

 社團法人東京銀行集會所社員……………二〇

 社團法人東京銀行集會所沿革……………二〇

 社團法人東京銀行集會所社員銀行四十三年間報告比較表……………二〇

一、社團法人東京銀行集會所社員銀行資本金其他一覽表……………三

一、英文社團法人東京銀行集會所職員……………一十二



東京銀行
集會所
寄贈本

一、英文東京銀行通信錄概要…………… 10

一、英文社團法人東京銀行集會所沿革…………… 1

14. 105

社團法人東京銀行集會所定款

第一章 總 則

第一條 當集會所ハ次條ニ定ムル目的ノ爲メニ設立スル社團法人ト
 第二條 當集會所ハ銀行及經濟ニ關スル事項ヲ研究スルヲ以テ目的
 トス

第三條 當集會所ノ名稱ヲ社團法人東京銀行集會所ト稱ス

第四條 當集會所ノ事務所ヲ東京市麴町區丸ノ内一丁目八番地一ニ

置ク (大正五年七月、昭
 和四年七月改正)

第二章 出 資

第五條 社員ハ此定款ノ定ムル所ニ從ヒ出資ヲ爲スノ義務ヲ負フ (昭
 和)

二年十月改正

第六條 出資ヲ分テ加入金及經費分擔金トス

第七條 當集會所ノ設立者タル社員ハ加入金トシテ第四十九條ノ許可ヲ受ケタル時ニ於テ其現ニ共有スル東京銀行集會所ノ財産ノ全部ヲ出資ス

前項ノ出資ハ之ヲ金額ニ換算シテ金拾壹萬四千圓トス

第八條 當集會所ノ承諾ヲ得テ新ニ社員タル者ノ加入金ハ左ノ標準

ニ依リテ之ヲ徵收ス(昭和二年十月改正)

一 拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額五百萬圓未滿 金參千圓

一 拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額五百萬圓以上ハ金五百萬圓
毎ニ金千圓ヲ加フ但金五百萬圓未滿ノ端數ハ金五百萬圓ト看做ス

前項ノ加入金ハ入社ノ承諾ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ之ヲ納付スルコトヲ要ス

第九條 經費分擔金ハ半年毎ニ左ノ標準ニ依リ之ヲ徵收ス但總會ノ

決議ニ因リ之ヲ増減スルコトヲ得(大正五年七月、同十一年一月、同年六月、同十三年一月、昭和二年十月及同三年六月改正)

第一種 東京市ニ本店ヲ有スル社員

拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額百萬圓未滿

金 貳 百 圓

拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額百萬圓以上貳百萬圓未滿

金 四 百 圓

拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額貳百萬圓以上五百萬圓未

滿 金 六 百 圓

拂込資本金積立金及繰越金ノ合算額五百萬圓以上貳千萬圓未

滿 金 千 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額貳千萬圓以上五千萬圓未

滿 金 千 五 百 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額五千萬圓以上壹億圓未滿

金 貳 千 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額壹億圓以上

金 貳 千 五 百 圓

第二種 東京市ニ支店ノミヲ有スル社員

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額百萬圓未滿

金 百 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額百萬圓以上貳百萬圓未滿

金 貳 百 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額貳百萬圓以上五百萬圓未

滿 金 參 百 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額五百萬圓以上貳千萬圓未

滿 金 五 百 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額貳千萬圓以上五千萬圓未

滿 金 七 百 五 拾 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額五千萬圓以上壹億圓未滿

金 千 圓

拂込資本金、積立金及繰越金ノ合算額壹億圓以上

金 千 貳 百 五 拾 圓

納期後社員ト爲リタル者ノ經費分擔金ハ其社員タル資格ヲ取得シタル月ヨリ其計算期ノ終マテ月割ヲ以テ之ヲ徴收ス

前二項ニ依リ定メタル經費分擔金ハ其納期後其標準ニ變更ヲ生スルモ次ノ納期マテ之ヲ變更セス
 第一項ノ經費分擔金ハ毎年一月三十一日マテ及七月三十一日マテニ各其計算期分ノ全額ヲ納付スルコトヲ要ス但納期後社員ト爲リタル者ハ其社員タル資格ヲ取得シタル日ヨリ一週間内ニ之ヲ納付スルコトヲ要ス

第十條 社員ハ出資ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三章 機關

第一節 職員

第十一條 當集會所ニ理事七名以内監事三名以内ヲ置キ社員總會ニ於テ社員代表者中ヨリ之ヲ選任ス理事ノ任期ハ三年監事ノ任期ハ二年トス但其任期滿了ノ後再選セラルルコトヲ妨ケス

理事及監事ノ任期中關員ヲ生シタルトキハ臨時總會ヲ召集シテ其

補關員ヲ選任シ又ハ次ノ通常總會迄選任ヲ猶豫スルコトヲ得

前項ノ補關員ノ任期ハ其前任者ノ殘任期間トス(大正五年十二月改正)

第十二條 理事ハ互選ヲ以テ會長一名副會長二名ヲ選舉スルコトヲ

要ス(大正五年十二月改正)

第十三條 當集會所ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス但常務ハ會長之ヲ專行スルコトヲ得

第十四條 會長ハ當集會所ノ事務ニ付當集會所ヲ代表ス

第十五條 會長事故アルトキハ副會長其職務ヲ代理ス

第十六條 當集會所ニ書記長一名書記若干名ヲ置ク其選任及解任ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

書記長ハ理事ノ命ヲ受ケ事務ヲ處理シ部下ヲ監督ス

書記ハ書記長ノ指揮ニ從ヒ事務ヲ分掌ス(昭和二年十月改正)

八

第二節 總會

第十七條 通常總會ハ毎年一月及七月ニ於テ理事之ヲ召集ス

第十八條 臨時總會ハ理事必要ト認ムルトキ之ヲ召集ス

總社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ臨時總會ヲ召集スルコトヲ要ス

第十九條 總會ノ召集ハ五日前ニ會議ノ目的タル事項ヲ示シ各社員ニ對シ書面ヲ以テ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第二十條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知ニ掲ケタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スモノトス但出席シタル社員ノ三分ノ一以上ノ同意アルトキハ此限ニ在ラス(昭和二年十月改正)

第二十一條 總會ハ社員過半數ノ出席ニ因リテ成立ス

第二十二條 總會ニ出席セサル社員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ他ノ出席社員ニ限リ代理ヲ委任スルコトヲ得(昭和二年十月改正)
書面ヲ以テ表決ヲ爲シタル者ハ總會ニ出席シタル者ト看做ス

第二十三條 各社員ノ表決權ハ一箇トス

第二十四條 當集會所ト或社員トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第二十五條 總會ノ決議ハ特ニ定メタル場合ノ外出席シタル社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

議長ハ社員トシテ表決權ヲ有スル外可否同數ノ場合ニ於テ其裁決權ヲ有ス

第二十六條 總會ニ於テハ會長其議長ト爲ル會長事故アル場合ニ於テ副會長之ヲ代理スルコトヲ得サルトキハ出席シタル社員ノ互選

九

ヲ以テ其代理者ヲ選任ス

第二十七條 議長ハ總會ノ決議録ヲ作り之ニ署名シ事務所ニ備へ置

クコトヲ要ス(昭和二年十月改正)

各社員ハ事務時間内ハ總會ノ決議録ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第二十九條、第三十一條ニ掲ケタル書類及社員名簿ノ

閲覽ニ之ヲ準用ス

第四章 計 算

第二十八條 當集會所ノ計算期ハ毎年一月一日ヨリ六月三十日マテ

及七月一日ヨリ十二月三十一日マテトス

第二十九條 理事ハ通常總會ノ日ヨリ一週間前ニ左ノ書類ヲ事務所

ニ備フルコトヲ要ス

一 財産目録

二 事務報告書

三 收入、支出豫算及決算

第三十條 理事ハ前條ニ掲ケタル書類ヲ通常總會ニ提出シテ承認ヲ

求ムルコトヲ要ス

第三十一條 理事ハ前條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タル書類ヲ事

務所ニ備へ置クコトヲ要ス

第五章 社員ノ資格ノ得喪

第三十二條 當集會所ノ社員タルコトヲ得ル者ハ東京市ニ於テ本店

又ハ支店ヲ有スル銀行ニ限ル(大正十一年六月改正)

第三十三條 社員タラント欲スル者ハ社員ノ紹介ニ因リ當集會所ニ

書面ヲ以テ其申込ヲ爲スコトヲ要ス

申込書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申込者、紹介者及其代表者若クハ支配

人之ニ署名スルコトヲ要ス

一一

- 一 商號
- 二 公稱資本ノ額
- 三 拂込資本ノ額
- 四 積立金及繰越金ノ合算額(大正五年七月追加及昭和二年十月改正)
- 五 本店及支店ノ所在府縣郡市町村番地
- 六 取締役及監査役ノ氏名
- 七 代表者及支配人ノ氏名

申込書ニハ最近營業報告書ヲ添付スルコトヲ要ス(昭和二年十月追加)

第三十四條 前條第一項ノ申込アリタルトキハ理事ハ適當ト認メタル者ニ限リ之ヲ總會ノ議ニ附シ總會ニ於テハ無記名投票ヲ以テ申込ヲ承諾スヘキヤ否ヤヲ決ス其承諾ヲ爲スニハ出席社員ノ三分ノ

二以上ノ同意アルコトヲ要ス(昭和二年十月改正)

第三十五條 總會ニ於テ前條ノ規定ニ依リ申込ノ承諾ヲ爲シタルトキハ理事ハ申込者ニ對シ其旨及第八條第二項ニ定メタル期間内ニ加入金ノ納付ヲ爲スヘキコトノ通知ヲ爲スコトヲ要ス
申込者カ前項ノ通知ニ因リ期間内ニ納付ヲ爲ササルトキハ申込及承諾ハ其效力ヲ失フ

第三十六條 申込ノ承諾ヲ得タル者カ加入金ヲ完納シタルトキハ理事ハ遲滞ナク申込書ニ記載シタル事項及年月日ヲ社員名簿ニ登録スルコトヲ要ス(昭和二年十月改正)

申込者ハ社員名簿ノ登録ニ因リテ社員タル資格ヲ取得ス
第三十七條 社員名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ社員ハ一週間内ニ書面ヲ以テ之ヲ當集會所ニ通知スルコトヲ要ス

一三

前項ノ通知アリタルトキハ理事ハ遲滯ナク社員名簿ニ變更ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス記載前ニ在テハ其變更ヲ以テ當集會所ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十八條 理事ハ社員名簿ノ登録ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ社員ニ通知スルコトヲ要ス(昭和二年十月改正)

第三十九條 理事ハ社員名簿ヲ事務所ニ備へ置クコトヲ要ス

第四十條 社員カ總會其他當集會所ニ對スル行爲ニ付テハ社員名簿ニ登録シタル代表者若クハ支配人又ハ其代理人ニ依リテノミ之ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 社員タルノ資格ハ左ノ事由ニ依リテ消滅ス

- 一 退社ノ申出
- 二 第三十二條ニ記載シタル資格ノ喪失

三 破産ノ宣告

四 解散又ハ合併ニ依ル消滅

五 除名

第四十二條 退社ノ申出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十三條 除名ハ左ノ場合ニ限り總會ノ決議ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(昭和二年十月改正)

- 一 社員カ經費分擔金ノ納付ヲ爲ササルトキ
- 二 社員カ當集會所ノ體面ヲ毀損スル行爲又ハ銀行ノ業務上爲スヘカラサル行爲ヲ爲シタルトキ

總會ニ於ケル除名ノ決議ハ出席社員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス(昭和二年十月追加)

第四十四條 理事ハ社員ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ其事由及

年月日ヲ記シ社員名簿ニ於ケル其者ノ部分ヲ抹消スルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テ理事ハ遲滯ナク其旨ヲ社員ニ通知スルコトヲ要
ス(昭和二年
十月追加)

第四十五條 社員カ其資格ヲ喪失シタルトキハ當集會所ニ對スル總
テノ權利ヲ失フ

第六章 定款ノ變更

第四十六條 此定款ハ理事又ハ總社員ノ三分ノ一以上ノ發議ニ因リ
總會ノ決議ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ決議ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第四十七條 定款ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效
力ヲ生セス

第七章 解 散

第四十八條 總會ノ決議ニ因リ當集會所ヲ解散スルトキハ總社員ノ
四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

附 則

第四十九條 此定款ハ主務官廳ノ法人タルコトノ許可ノ時ヨリ其效
力ヲ生ス

社員總會ノ決議事項

一、加入銀行ノ資格ニ關スル件(大正十二年
十月決議)

公稱資本金參百萬圓以上又ハ拂込資本金壹百萬圓以上ノモノニ限
リ加入許否ノ詮議ヲ爲スコトニ改正ノコト

東京市麴町區丸ノ内一丁目八番地一

社
團
法
人

東京銀行集會所

社團法人東京銀行集會所職員

理事(會長)	株式第一銀行頭取	石井健吾
理事(副會長)	株式昭和銀行頭取	生田定之
理事(副會長)	株式安田銀行副頭取	森廣藏
理事	株式三菱銀行取締役會長	串田萬藏
理事	株式川崎第百銀行頭取	星埜章
理事	橫濱正金銀行取締役	最上國藏
理事	株式三井銀行常務取締役	菊本直次郎

監事	株式第三銀行頭取	安田善兵衛
監事	株式三和銀行東京支店長	丸川賢二
監事	株式住友銀行東京支店長	今村默郎
書記長		中村忠彰

社團法人東京銀行集會所社員

本店 銀行 (二十行) (加入順)

東京市麴町區丸ノ内一丁目一番地	株式第一銀行
同 京橋區木挽町八丁目二番地二	株式十五銀行

同	東京市麴町區丸ノ内二丁目五番地一	會株社式	三菱銀行
同	日本橋區室町二丁目一番地一	會株社式	三井銀行
同	麴町區大手町一丁目六番地六	會株社式	安田銀行
同	日本橋區通一丁目十一番地四	會株社式	川崎第一百銀行
同	日本橋區兜町一丁目四番地四	會株社式	第三銀行
同	日本橋區江戸橋二丁目八番地	會株社式	西脇銀行
同	京橋區京橋一丁目四番地ノ二	會株社式	東京山中銀行
同	麴町區丸ノ内一丁目八番地一	會株社式	日本興業銀行
同	麴町區内山下町一丁目一番地	會株社式	日本勸業銀行
同	日本橋區小傳馬町二丁目五番地三	會株社式	鐵業銀行

同	京橋區銀座西四丁目三番地	會株社式	日本晝夜銀行
同	日本橋區本石町一丁目四番地五	會株社式	金原銀行
同	日本橋區堀留町二丁目八番地二	會株社式	日比谷銀行
同	日本橋區室町三丁目一番地一、二	會株社式	安田貯蓄銀行
同	日本橋區室町三丁目三番地二	會株社式	昭和銀行
同	日本橋區茅場町一丁目十六番地	會株社式	東京貯蓄銀行
同	日本橋區通一丁目五番地八	會株社式	東京貯藏銀行
同	日本橋區通三丁目二番地一	會株社式	川崎貯蓄銀行

支店銀行

(二十八行) (加入順)

橫濱市中區南仲通五丁目六十番地

橫濱正金銀行

東京市日本橋區本石町一丁目六番地

同 東京支店

新潟市東堀前通七番町一番戶

會社式 第四銀行

東京市日本橋區茅場町一丁目十六番地五

同 東京支店

甲府市常盤町四番地

會社式 第十銀行

東京市神田區鍛冶町一丁目三番地一

同 東京支店

富山市袋町十九番地

會社式 十一銀行

東京市日本橋區通二丁目七番地ノ四

同 東京支店

大阪市東區今橋三丁目二十一番地

會社式 三和銀行

東京市日本橋區室町二丁目四番地六

同 東京支店

長野市大字南長野千五百九十七番地ノ一

會社式 八十二銀行

東京市日本橋區小舟町一丁目四番地一

同 東京支店

仙臺市大町四丁目百七十五番地

會社式 七十七銀行

東京市日本橋區茅場町一丁目十四番地一

同 東京支店

八王子市橫山町六十二、六十三、六十四番地

會社式 第三十六銀行

東京市日本橋區大傳馬町一丁目一番地

同 東京支店

山形市七日町字東前六百十番地

會社式 兩羽銀行

東京市京橋區京橋三丁目二番地四

同 東京支店

大阪市東區北濱五丁目二十二番地

會社式 住友銀行

東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地二

同 東京支店

臺北市榮町二丁目一番地

會社式 臺灣銀行

東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地ノ一

同 東京支店

京城府南大門通三丁目百十番地

朝鮮銀行

東京市麴町區大手町二丁目四番地ノ二

同 東京支店

名古屋市中區御幸本町通八丁目十八番地

會社式 愛知銀行

東京市日本橋區通一丁目五番地ノ一

同 東京支店

札幌市大通西三丁目七番地

會社式 北海道拓殖銀行

東京市麴町區丸ノ内二丁目十八番地

同 東京支店

長岡市本町二丁目乙九百二十七番地

會社式 長岡銀行

東京市日本橋區大傳馬町二丁目二番地一

同 東京支店

名古屋市中區榮町一丁目一番地

會社式 名古屋銀行

東京市日本橋區堀留町一丁目十三番地六

同 東京支店

長岡市表町三丁目四百二十一番地

會社式 六十九銀行

東京市日本橋區通鹽町一番地

同 東京支店

名古屋市中區傳馬町七丁目十一番地

會社式 明治銀行

東京市日本橋區堀留町二丁目八番地ノ一

同 東京支店

橫濱市中區辨天通二丁目三十五番地

會社式 橫濱興信銀行

東京市日本橋區堀留町一丁目七番地三

同 東京支店

大阪市東區今橋二丁目一番地

會社式 日本信託銀行

東京市日本橋區茅場町一丁目十六番地一〇

同 東京支店

神戸市神戸區浪花町五十六番地

會社式 神戸岡崎銀行

東京市日本橋區江戸橋一丁目十三番地

同 東京支店

大阪市東區備後町二丁目二十一番地

會社式 野村銀行

東京市日本橋區通一丁目一番地

同 東京支店

佛國巴里市カンボン街三十三番	會社式	日佛銀行
東京市日本橋區吳服橋二丁目一番地	同	東京支店
浦和市二千二百六十二番地	會社式	武州銀行
東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地	同	東京支店
長崎市築町百七番戶第一號	會社式	十八銀行
東京市日本橋區小傳馬町三丁目一番地	同	東京支店
足利市通三丁目百三十五番地	會社式	足利銀行
東京市日本橋區堀留町一丁目八番地ノ五	同	東京支店
小樽市色内町七丁目二十番地	會社式	北海道銀行
東京市日本橋區本町一丁目二番地ノ二	同	東京支店
新潟市上大川前通八番町千二百四十五番地	會社式	新潟銀行
東京市日本橋區本町三丁目一番地四	同	東京支店

社團法人東京銀行集會所沿革

明治九年國立銀行條例ノ改正後國立銀行ノ設立漸ク増加シ、翌十年ニ至リテハ全國ヲ通シテ其數二十ニ上リ、東京ニ於ケル國立及私立銀行ノ本店及支店凡ソ十一ニ及ヘリ、是ニ於テ第一國立銀行頭取澁澤榮一君ハ、銀行業者會合ノ必要ヲ主唱シ、東京府下同業者多數ノ同意ヲ得テ、同年七月二日始メテ同業者ノ會合ヲ東京海運橋際第一國立銀行ニ開キ、一會ヲ組織シテ擇善會ト稱ス、蓋シ善キ者ヲ擇ヒテ之ニ從フノ意ヲ表セルモノナリ、是レ實ニ東京銀行集會所ノ濫觴ニシテ、又我國銀行家會合ノ嚆矢ナリ、當時此會ニ加ハリシ銀行本支店ハ、其數十一ニシテ、第一國立銀行、第十五國立銀行及三井銀行推サレテ幹事トナリ、會務ハ第一國立銀行ニ於テ之ヲ處理シ、毎月一回會合ヲ開ケリ、爾來國立銀行ノ

設立愈々増加スルト共ニ擇善會ニ加ハル銀行亦愈々増加シテ其數遂ニ三十ニ上レリ

明治十三年八月三日、擇善會ノ會合ニ於テ、同月二十二日限り擇善會ヲ解散シ、新ニ之ニ代ルヘキ一會ヲ組織スルコトニ決シ、第三國立銀行、第六國立銀行、第二十國立銀行、第三十三國立銀行及第百國立銀行ヲ舉ケテ創立委員トス、同年九月一日其創立成リ、名ケテ東京銀行集會所ト稱シ、規程ヲ設ケ、事務所ヲ東京日本橋區萬町一番地第百國立銀行内ニ置キ、事務員ヲ雇入レ庶務ヲ取扱ハシム

明治十五年三月、東京銀行集會所規程ノ改正ヲ行フ、同年十一月事務所ヲ東京日本橋區兜町四番地ニ移ス、翌十六年一月集會所新築ノ議ヲ決シ、日本橋區坂本町四十番地ノ官有地ヲ拂下ケ、第三國立銀行取締役松下一郎右衛門、第二十國立銀行支配人佐々木慎思郎、第二十七國立銀行

取締役兼支配人安藤利助ノ三君ヲ舉ケテ新築委員トシ、新築ノ工事ヲ統督ス、越エテ明治十八年六月新築ノ工ヲ竣リ、事務所ヲ新築集會所ニ移ス、同年十二月東京銀行集會所ヨリ銀行通信錄ヲ發行シ、全國ノ同業者互ニ聲息ヲ通シテ營業ノ便益ヲ圖リ、併セテ自他ノ得失ニ鑑ミ、營業上ノ知識ヲ開發スルノ機關トス、蓋シ是ヨリ先キ擇善會ニ於テ擇善會錄事ノ發行アリ、明治十一年理財新報ト改稱シテ、毎月一回之ヲ發行シ、同十二年一月之ヲ廢刊以來、雜誌ノ發行久シク中絶セシカ、茲ニ至リテ再ヒ之ヲ發行スルコトトナレルモノナリ

明治二十年十二月、東京銀行集會所同盟中有志ノ發起ニテ手形交換所ヲ創立シ、同二十四年三月其組織ヲ改正ス、現今ノ東京手形交換所是ナリ、爾後同交換所ノ事務ハ引續キ東京銀行集會所ニ於テ取扱ヒ來リタルモ、明治三十三年八月ニ至リ、全ク銀行集會所ト分離セシメタリ

明治二十九年三月、東京銀行集會所規程ヲ改正シ、會長一名、副會長一名ヲ置キ會務ヲ統理スルコトトシ、第一國立銀行頭取澁澤榮一君會長ニ、第一百十九國立銀行頭取豐川良平君副會長ニ舉ケラル、後第一國立銀行ハ株式會社第一銀行トナリ、澁澤榮一君其頭取ニ就任シ、又第一百十九國立銀行ハ三菱合資會社銀行部トナリ、豐川良平君其部長ニ就任シ、引續キ東京銀行集會所正副會長タリ、同年三月東京銀行集會所同盟中有志ノ發起ニテ、東京興信所ヲ創立ス

明治三十年一月、東京銀行集會所内ニ經濟文庫ヲ設置シ、廣ク經濟ニ關スル内外ノ圖書ヲ收藏ス、同年七月東京銀行集會所規程ニ改正ヲ加ヘ經費釀出ノ方法ヲ變更ス、越エテ明治三十二年東京銀行集會所構内ニ家屋ヲ増築シ、同年十一月一日ヨリ銀行俱樂部ヲ開設ス、翌三十三年七月更ニ規程ヲ改正シ、加入金及經費分擔金ノ額ヲ變更シ、同時ニ從來每

月一回開會セシ定式集會ヲ廢シ、定時總會ハ一年兩度トシ、且ツ副會長一名ヲ増加シ、八月一日ヨリ之ヲ實施ス、而シテ副會長ニハ株式會社十五銀行頭取園田孝吉君其選ニ當リ、澁澤會長豐川副會長ト共ニ會務ヲ統理ス

明治四十三年八月、臨時總會ニ於テ東京銀行集會所ヲ社團法人トナスコトニ決シ、新ニ定款ヲ作成シ、加入金及經費分擔金ノ額ヲ改正シ、當時ノ組合銀行五十六行ヲ社團法人ノ設立者トシテ、主務大臣ノ認可ヲ受ケ、同年十二月十七日ヲ以テ愈々設立ノ手續ヲ終了ス、是ニ於テ從來支店名義ヲ以テ集會所ニ加入シタル地方銀行ハ、本店名義ヲ以テ加入スルコトトナリ、東京銀行集會所ノ法律上ニ於ケル地位始メテ確立セリ、而シテ社團法人ノ理事ハ三名トシ、定款ノ規定ニ從ヒ改メテ選舉ヲ行ヒ、前會長男爵澁澤榮一君、副會長豐川良平、園田孝吉ノ二君引續キ其選

ニ當ル、然ルニ豊川、園田兩副會長ハ翌四十四年一月ノ改選期ニ於テ再選辭退ニ付、後任トシテ株式會社三井銀行常務取締役早川千吉郎、株式會社十五銀行副頭取松方巖ノ二君副會長ニ當選就任シ、澁澤會長ヲ助ケテ會務ヲ統理ス

大正三年一月通常總會ニ於テ、新ニ集會所建築ノ議ヲ決シ、建築委員十二名(後二十二名ニ増加ス)ヲ舉ケ、其中ヨリ株式會社三井銀行常務取締役早川千吉郎、株式會社十五銀行取締役兼支配人成瀬正恭、合名會社村井銀行業務執行社員村井貞之助ノ三君ヲ建築常務委員ニ推シ、三菱合資會社所有ニ係ル東京市麴町區永樂町二丁目五、六番地ノ地所ヲ借入レ、同年五月ヲ以テ新築工事ニ著手ス、蓋シ是ヨリ先、明治四十一年一月集會所改築ノ議起リ調査委員ヲ設ケシモ、時機未タ熟セス、越エテ明治四十五年七月ニ至リ、再ヒ改築ノ議起リ、更ニ調査委員ヲ舉ケテ調査中、

偶々翌大正二年一月銀行俱樂部ニ充當セル家屋燒失ノ爲メ、一層改築ノ機ヲ早ムルコトトナリ、遂ニ地ヲ擇ミテ新ニ集會所建築ノ事ニ決シタルモノナリ

大正五年七月定款ヲ改正シ、經費分擔金ノ額ヲ變更ス、同月會長男爵澁澤榮一君株式會社第一銀行頭取辭任ト共ニ、當集會所會長ヲモ辭任ニ付、翌八月之カ補缺選舉ヲ行ヒ、副會長早川千吉郎君其選ニ當リ、早川副會長ノ後任ニハ、株式會社第一銀行頭取佐々木勇之助君其選ニ當ル、同年九月集會所新築工事落成シ、同月十九日ヨリ二十五日迄ニ全部ノ移轉ヲ終了ス、而シテ澁澤前會長功勞記念ノ爲メ、新築集會所内ニ建設中ノ壽像ハ、建物ト共ニ竣成ヲ告ケタルニ依リ、同月二十五日ヲ以テ除幕式ヲ行ヒ、且ツ同年十一月十五日ヲ以テ、同男爵ノ爲メ、新築集會所ニ銀行團體主催ノ慰勞晚餐會ヲ開キタリ

大正五年十二月再ヒ定款ヲ改正シ、理事ノ人員ヲ七名ニ増加スルト同時ニ、新ニ監事三名ヲ置クコトニ決ス、翌大正六年一月理事及監事ノ選舉ヲ行ヒ、且ツ理事ノ互選ニ依リ、早川千吉郎君會長ニ、松方巖、佐々木勇之助ノ二君副會長ニ再選就任ス、同七年一月會長早川千吉郎君辭任ニ付、副會長佐々木勇之助君會長ニ、理事池田成彬君副會長ニ當選就任ス、同十一年十一月副會長松方巖君辭任ニ付、理事串田萬藏君副會長ニ當選就任ス

大正十五年一月、會長佐々木勇之助君辭任ニ付、其後任トシテ理事三菱銀行取締役會長串田萬藏君當選就任シ、又理事改選ノ結果、副會長ニハ理事十五銀行頭取成瀬正恭、同豊國銀行頭取生田定之ノ兩君當選就任セリ、然ルニ副會長成瀬正恭君ハ同年十一月病氣ノ爲メ辭任ニ付、其後任トシテ同年十二月十三日理事安田銀行副頭取結城豊太郎君當選就

任セリ、又副會長生田定之君ハ豊國銀行ノ解散(昭和銀行ニ合併)ニ伴ヒ、昭和三年二月一日副會長ヲ辭任シタルモ、同月昭和銀行頭取トシテ再選就任セリ

昭和二年十月更ニ定款ヲ改正シ、又同時ニ明治四十四年一月ノ決議事項タル「定款ノ適用ニ關スル件」及大正三年一月ノ決議事項タル「新築費負擔額ニ關スル件」ヲ廢止シ、昭和三年六月ニハ經費分擔金ノ標準率ヲ改定増加スルト共ニ、剩餘財産ノ處分ニ關スル件ヲ決定シタリ

昭和四年一月理事監事全員任期滿了ニ付其選舉ヲ行ヒタル處全員再選重任シ、尙會長ニハ三菱銀行會長串田萬藏君、副會長ニハ安田銀行副頭取結城豊太郎、昭和銀行頭取生田定之ノ兩君再選重任シタルモ、結城副會長ハ同年三月二十八日都合上辭任ニ付同年四月八日、第一銀行頭取石井健吾君副會長ニ當選就任セリ

此間東京市ニ於ケル町界町名番地ノ整理アリ、當所々在地ハ昭和四年四月十五日ヨリ東京市麴町區丸ノ内一丁目八番地一ト變更セラレタルニ依リ、同年七月ノ通常總會ニ於テ定款中變更ノ件ヲ可決シ、右認可ヲ大藏大臣ニ申請シテ其認可ヲ得タリ

尙當集會所ハ商工會議所法及東京商工會議所定款ノ規定ニ依リ銀行業代表議員一名ヲ選定スルコト、ナレルニ依リ、昭和四年二月ノ臨時總會ニ於テ株式會社三菱銀行ヲ選定シタルガ同八年二月ノ改選ニ際シテモ亦同銀行ヲ選定セリ

更ニ同四年二月下旬ニハ前年來井上法學博士監修ノ下ニ翻譯中ナリシ「バーヂェス」博士原著準備銀行ト金融市場出來シ、又去ル大正十五年九月ノ臨時總會ニ於テ決議ノ結果、大藏省監督ノ下ニ編纂中ナリシ二期拂債券現價表モ同年四月下旬出版ノ運ビニ至リタルガ後者ハ三十

餘名ノ臨時職員ヲ使用シ二ケ年有半ノ日子ヲ費シテ完成セル本邦唯一ノ現價表ナリ

昭和七年一月理事七名任期滿了ニ付其選舉ヲ行ヒタル處全員再選重任シ尙會長ニハ三菱銀行會長串田萬藏君、副會長ニハ第一銀行頭取石井健吾、昭和銀行頭取生田定之ノ兩君再選重任シタルモ同八年九月東京手形交換所理事長ニシテ當所理事タル三井銀行常務取締役池田成彬君ノ辭任ニ伴ヒ、串田會長交換所理事長ニ就任シ、同時ニ會長辭任ニ付、會長ニハ石井健吾君、又石井副會長ノ後任ニハ安田銀行副頭取森廣藏君當選就任セリ

此間昭和七年九月東京地方裁判所ヨリ今回發布ノ金錢債務臨時調停法ニ關シ調停委員十名選定方ノ照會アリタルニ依リ、第一、三菱、三井、安田、川崎第百、日本興業、日本勸業、橫濱正金、臺灣、朝鮮ノ各行ヨリ各一名ヲ

選定報告セリ

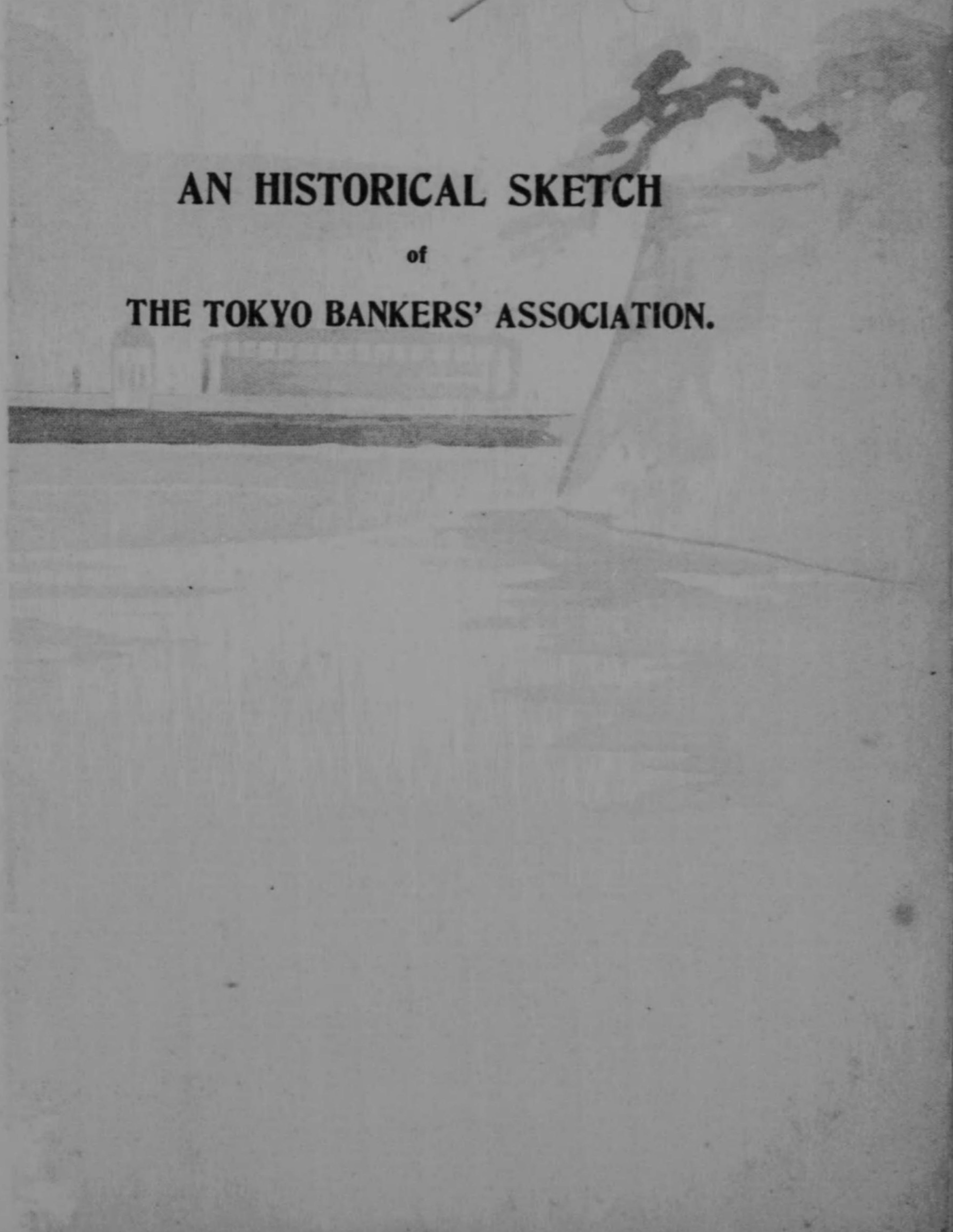
現在(昭和九年五月末)ニ於ケル社員數ハ本店銀行二十行、支店銀行二十八行合計四十八行ニシテ、銀行通信錄ハ號ヲ重ヌルコト五百八十號ニ及ヒ、又銀行俱樂部ノ會員數ハ名譽會員及客員ヲ合シテ總計五百十六名ナリ



東京銀行集會所

17-680
1/2

AN HISTORICAL SKETCH
of
THE TOKYO BANKERS' ASSOCIATION.



CONTENTS

An Historical Sketch of the 'Tokyo Bankers' Association.	1
The Bankers' Magazine.	10
The Officers of the 'Tokyo Bankers' Association.	12
Capital and Reserve Funds of the Associated Banks in Tokyo (No. I)	14
„ „ „ (No. II)	16
Comparative Table of the Returns of Banks of Tokyo Bankers' Association, during the Period of fourty three years.	18

AN HISTORICAL SKETCH
of
THE TOKYO BANKERS' ASSOCIATION.

After amendment were made in the National Bank Regulations in 1876, the number of national banks gradually increased, and in 1877 there were twenty of them in the Empire, Tokyo having eleven, some of which were branches and private institutions.

In the same year, Viscount (then Mr.) Shibusawa, the President of the First National Bank, seeing the necessity of bringing together men engaged in banking business, took lead in organizing an association for the purpose with the approval of a large number of bankers. On July 2nd of the same year, the first meeting of bankers of Tokyo was held at the First National Bank at Kaiunbashi, Tokyo, and it was decided to call the association then formed, the "Takuzen Kwai," which means association for improving business methods.

This was the first step towards the organization of the present Tokyo Bankers' Association. The meeting was really the first of such a nature ever held in Japan. The eleven banks of the city joined the Association, and the First and Fifteenth National, and the Mitsui Banks were chosen as "Kanji." or managers, the business of the Association to be transacted at the First National Bank, and its meetings were held once a month. The subsequent increase in the number of National Banks also increased the membership of the Association until it rose to thirty.

On August 3rd, 1880, at a meeting of the Takuzen Kwai, a resolution was passed to dissolve it, and to

organize in its place a new association. The Third, Sixth, Twentieth, Thirty-third and One Hundredth National Banks were elected to form a Committee, and on September 1st of the same year, the organization was perfected under the name of the "Tokyo Ginkō Shūkwai Jo," or the Tokyo Bankers' Association. An office was opened at No. 1 Yoro-zu-chō, Nihombashi-ku, Tokyo, and clerks were engaged to attend to its business.

In March, 1882, some amendments were made in the Constitution of the Association; and in the following November, the office of the Association was moved to No. 4 Kabuto-chō, Nihombashi-ku. In January of the next year, a plan of a new building for the Association was adopted, and a government lot at No. 40 Sakamoto-chō, Nihombashi-ku was secured as its site. Mr. I. Matsushita, Director of the Third National Bank, Mr. S. Sasaki, Manager of the Twentieth National Bank, and Mr. R. Ando, Director and Manager of the Twenty Seventh National Bank, were elected the Committee of Building. These gentlemen superintended the work of erecting the new building, which was completed in June, 1885. In the same month, the office was removed to the new building. In the following December, the Association began to publish a monthly report, titled the "Ginkō Tsushinroku," or The Bankers' Magazine, in which were published the substance of communications received from its members. The object of the publication was to collect general informations concerning the banking business and to promote the mutual interest of the members of the Association.

Previous to the advent of the "Bankers' Magazine," a periodical of similar nature called the "Takuzen Kwai Rokuji" was issued by the Takuzen Kwai. In 1878, the title of the periodical was changed to the "Rizai

Shimpō," but it was discontinued after January, 1879. As there was no magazine of this kind published for some years thereafter, the new monthly was favorably received by the business men in general.

In December, 1887, a Clearing House was established by certain members of the Association interested with it, and in 1891, some improvements were made in the Clearing House System. This is the Tokyo Bankers' Clearing House of the present day. However, at the first time and the following years, the business of the Clearing House was transacted so for convenience co-operating with the Association at the latter's office, but in August, 1900, it was made entirely independent of the Association.

In March, 1896, some amendments were made in the constitution of the Association, and a president and vice-president were elected to supervise its business. Viscount (then Mr.) Shibusawa, the president of the First National Bank, was elected as President, and Mr. R. Toyokawa of the One Hundred and Nineteenth National Bank, Vice-president. Thereafter the First National Bank was incorporated a joint stock company with Viscount Shibusawa as its president, and the One Hundred and Nineteenth Bank was reorganized as a Banking Department of the Mitsubishi Company with Mr. Toyokawa as its chief. These gentlemen continued to hold their respective office in the Association.

In March, 1896, the "Tokyo Kōshin Jo," or the Tokyo Mercantile Agency, was established by the Association and the affiliated Banks.

In January, 1897, the Association established an Economic Library containing quite a number of foreign and Japanese books.

In July of the same year, further amendments were made in the constitution of the Association with

regard to contributions by its members to its expenses.

In 1889, an extension to its building was erected on the compound of the Association, and on November 1st the Bankers' Club which was formed about that time was opened there.

In July, 1900, more amendments were made in the constitution, substituting a semi-annual for the monthly general meetings, and providing for the election of a second Vice-president, to which Mr. K. Sonoda of the Fifteenth Bank was elected. At the same time, changes were made in the Entrance Fee and Contributions.

In August, 1910, it was decided at an extraordinary meeting then held to incorporate the Association into Juridical Person. In consequence a new Constitution was adopted, 56 banks, members of the Association, enrolling as the charter members of the new Association. The change was completed with the approval of the Government Authorities on December 17th. Under the new Constitution, which provided for the election of three directors, Viscount Shibusawa was re-elected as President, and Messrs. R. Toyokawa and K. Sonoda, Vice-presidents. In January, 1911, when their term expired, both Mr. Toyokawa and Mr. Sonoda announced their intention to decline nomination for re-election, and Mr. S. Hayakawa, Director of the Mitsui Bank, and Mr. I. Matsukata, Vice-president of the Fifteenth Bank, were elected in place of the outgoing officers.

In January, 1914, at a general meeting, a project to put up a new building for the Association was approved. Mr. S. Hayakawa, Managing Director of the Mitsui Bank, Mr. M. Naruse, Director and Manager of the Fifteenth Bank, and Mr. S. Murai, Partner of the Murai Bank, were chosen as a Standing Committee from the Building Committee of twelve, which afterward was

increased to twenty-two in number. A plot of land owned by the Mitsubishi at No. 5 Eirakuchō Nichōme, Kōjimachi-ku, was rented, and the work of construction was commenced in May of the same year. It may be mentioned here that the original proposal for a new building was made in 1908, resulting in the appointment of a committee of investigation, which, however, found then the attempt premature. It was revived in 1912 and a new committee was formed. While the committee was at its work, fire destroyed a part of the old building used by the Bankers' Club, and this necessitated the early execution of the project.

In July, 1916, some changes with regard to the members' contributions were made, by amending the constitution of the Association. In the same month, Viscount Shibusawa, President of the Association, presented his resignation in consequence of his retirement from the active business life. Mr. S. Hayakawa, Vice-president of the Association, was elected to fill the place vacated by Viscount Shibusawa who had so long occupied it with unsurpassed distinction ever since the Association was first founded. Mr. Y. Sasaki, President of the First Bank, was elected to succeed Mr. Hayakawa.

The new building was completed in September, 1916, and in the latter part of the same month, the office of the Association was moved to its new quarters. At the same time, a bust of Viscount Shibusawa, Ex-President of the Association, presented by the members in commemoration of the valuable service rendered by him to the Association for so many years, was placed in the hall of the new building. The ceremony unveiling the bust was held later in the same month. On November 15th of the same year, the leading bankers of the city gave a banquet in honor of Viscount Shibusawa.

In December, 1916, the Constitution was again amended with the view of increasing the number of directors to seven, and of providing newly three auditors.

At a general meeting held in January of the following year, Mr. S. Hayakawa, Managing Director of the Mitsui Bank, was reelected as President of the Association, and Mr. I. Matsukata, President of the Fifteenth Bank, and Mr. Y. Sasaki, President of the First Bank, were also reelected as Vice-president.

In January, 1918, Mr. S. Hayakawa resigned from the Presidency of the Association, and consequently Mr. Y. Sasaki was elected in the place and at the same time Mr. S. Ikeda, Managing Director of the Mitsui Bank, was elected as Vice-president.

In November, 1922, Mr. I. Matsukata resigned from the Vice-president, and Mr. M. Kushida, Managing Director of the Mitsubishi Bank, was elected to fill the place which has just become vacant by Mr. I. Matsukata's resignation.

In January, 1926, Mr. Y. Sasaki resigned the presidency of the Association, and the Director Mr. M. Kushida was elected in the place, and the Directors Mr. M. Naruse, the president of the Fifteenth Bank and Mr. S. Ikuta, the president of the Toyokuni Bank, were elected as the Vice-presidents. In November, Mr. M. Naruse resigned the Vice-presidency, on account of illness; so the Director Mr. T. Yūki, the vice-president of the Yasuda Bank, was elected to fill the place. Thereafter, in February, 1928, Mr. Ikuta resigned the Vice-presidency, owing to the dissolution of the Toyokuni Bank to be consolidated into the Shōwa Bank. In this newly established Bank, he was elected as the president, and afterwards again elected to the Vice-president of the Association.

In October, 1927, the Constitution was again amended, and, at the same time the clause concerning to the application of the articles in the Constitution of the Association which were decided in the general meeting of the member banks held in January, 1911, and the clause of the contribution of the cost of Building, adopted in January, 1914, were both abolished. In June, 1914, another amendments of the constitution were made, as to increase the members' yearly contributions and to disposing of the remnant assets of the Association.

The terms of all officers, directors and auditors, having expired, in January 1929, an election was called for at the general meeting of the above date, and all the previous directors and auditors were reelected.

Mr. M. Kushida, President of the Mitsubishi Bank, was reelected as President; Mr. T. Yuki, Vice-president of the Yasuda Bank, and Mr. S. Ikeda, President of the Showa Bank, were also reelected as Vice-Presidents.

On March, 28, 1929, Vice-president Mr. T. Yuki, presented his resignation; and in order to fill this vacancy, Director K. Ishii, President of the Dai-Ichi Bank, was elected on April 8th.

During this period, the City of Tokyo made a land readjustment. According to this adjustment,—from April 15th, 1929,—the location of this association has been changed to 8.1, 1-chome, Marunouchi, Kojimachi-Ku, Tokyo.

At the general meeting, July 1929, regarding change of location, an amendment to the constitution was approved by the members; and application having made to the Minister of Finance, it was authorized by him.

According to the regulations of the Chamber of

Commerce, it became necessary to elect a committee to represent the bankers. Therefore, at the special general meeting, held in February, 1929, the Mitsubishi Bank was chosen as the representative; and again in February 1930, the Mitsubishi Bank was reelected as the representative:

At the close of February, 1929, a translation of the "The Reserve Banks and The Money Market" by Dr. Randolph Burgess was published. This translation had been supervised by Dr. Inoue, LLD during the previous year.

Also during the closing days of April, 1929 a "Table of Bond Values computing Semi-Annual Payments of Interest" was published.

At a special meeting, held in September, 1926, a resolution was passed to publish this. This had been under the supervision of the Finance Department. It is said that this is one of the most valuable tables of Bond Values in the country. Its completion required the time of more than thirty temporary staff members for more than two and half years.

In January 1932, the terms of seven of the directors expired, but they were all reelected.

Mr. M. Kushida, Managing Director of the Mitsubishi Bank, was reelected as President. As Vice-presidents, Mr. K. Ishii, president of Dai-Ichi Bank, and Mr. S. Ikuta, president of the Showa Bank, were reelected.

Upon the resignation of Mr. S. Ikeda, Managing Director of the Mitsui Bank, as chair-man of the Tokyo Clearing House Committee, President M. Kushida of this association was elected to fill his place. Consequently, Mr. M. Kushida resigned his presidential office and Mr. K. Ishii, president of the Dai-Ichi Bank, was elected as president; and, as Vice-president, Mr.

Mori, Vice-president of Yasuda Bank, was elected.

Meanwhile, in September, 1932, the association received the request from the Tokyo District Court to elect ten arbitrators to deal with the Temporary Arbitration Law having to do with Debt. So the following ten banks, The Dai-Ichi, The Mitsubishi, The Yasuda, The Kawasaki-Dai-Hyaku, The Nihon Kogyo, The Yokohama Shokin, The Daiwan, and The Chosen Bank chose one member each and reported to the Court to this effect.

At this writing time, May, 1934, the members of the Association consists of 48 banking institutions including 20 banks and 28 branch banks. Also the number of the members of the Bankers' Club has gradually increased; and now it totals 510.

Finally it is necessary to mention that the Bankers' Magazine" continues to be well patronized and its last issue out at the time of writing is No. 579.

THE BANKERS' MAGAZINE.

The Bankers' Magazine is published under the auspices of the Tokyo Bankers' Association on the 20th of each month. This magazine first appeared some 52 years ago, under the title of "Takuzen Kwai Rokuji," which was latter followed later on by a publication called "Rizai Shimpō," or The Economic Journal, Soon after the organization of the Tokyo Bankers' Association, the first number in its present form was issued in November, 1885. Since that time it is regularly published each month. It is the pioneer and leading banking journal in Japan.

At first it was intended for circulation among the associated bankers only, "for the promotion of their mutual interests; and with the object of keeping them in touch with the best thought of the day"; but our constant efforts to improve it and to keep it in line with the best magazine of the world, won for it such popularity that it is now welcomed by all business men throughout the country. In 1897, in accordance with a resolution passed at a meeting of the Association, the magazine was further improved both in its style and contents. Since then, while making a full record of all home topics of material to bankers, it has devoted a large share of its space to economic and financial outlook of the world at large. Thus it has won the regard of its many readers. Each number now contains nearly 200 pages, and is filled with a careful selection of the best and most valuable informations on the financial and other topics of the day.

Some of the most important departments of the magazine are as follows:—

1. The Money Market. (Home and Foreign.)
 2. The Circulation of Currency.
 3. Japan's Foreign Trade.
 4. Lectures, Correspondences, and Interviews with Leading Men.
 5. Banking and Commercial Laws, and Legal Decisions of Interest to Bankers.
 6. Records of the Tokyo Bankers' Association.
 7. General News of Home and Foreign Banks and Bankers.
 8. Economic Outlook of the World.
 9. Commercial and Miscellaneous News.
 10. Statistics. (Banking, Trade and Financial)
-

THE TOKYO BANKERS' ASSOCIATION.

8, 1 Chōme, Marunouchi, Kōjimachi-ku,
TOKYO.

Tel. { Maru no uchi 1231 (Long distance)
 " 1232, 1233, 1234, 1235,

Officers.

President K. ISHII.

President of the Dai-ichi Bank.

Vice-President S. IKUTA.

President of the Shōwa Bank.

Vice-President H. MORI.

Vice President of the Yasuda Bank.

Director M. KUSHIDA.

Managing Director of the Mitsubishi Bank.

Director S. HOSHINO.

President of the Kawasaki-Daihyaku Bank.

Director K. MOGAMI,

Director of the Yokohama Specie Bank.

Director N. KIKUMOTO.

Managing Director of the Mitsui Bank.

Auditor Z. YASUDA.

President of the Dai-San Bank.

Auditor K. MARUKAWA.

Branch Manager in Tokyo of the Sanwa
Bank.

Auditor S. IMAMURA.

Branch Manager in Tokyo of the Sumitomo
Bank.

Secretary T. NAKAMURA.



東京銀行集會所

東京銀行集會所社員銀行
(其一) Capitals and Reserve-funds of the

東京に本店を有する社員銀行之部

本店所在地 Head office,	行名 Banks.
東京 Tokyo.	第一銀行 Dai-ichi Bank.
同 同	十五銀行 Jyūgo Bank.
同 "	三菱銀行 Mitsubishi Bank.
同 "	三井銀行 Mitsui Bank.
同 "	安田銀行 Yasuda Bank.
同 "	川崎第百銀行 Kawasaki Dai-hyaku Bank.
同 "	第三銀行 Dai-san Bank.
同 "	小池銀行 Koike Bank.
同 "	西脇銀行 Nishwaki Bank.
同 "	東京山中銀行 Tokyo Yamanaka Bank.
同 "	日本興業銀行 Industrial Bank of Japan.
同 "	日本勸業銀行 Hypothec Bank of Japan.
同 "	鐵業銀行 Tetsugyō Bank.
同 "	日本晝夜銀行 Nippon-Chūya Bank.
同 "	金原銀行 Kimbara Bank.
同 "	日比谷銀行 Hibiya Bank.
同 "	安田貯蓄銀行 Yasuda-chochiku Bank.
同 "	昭和銀行 Shōwa Bank.
同 "	東京貯蓄銀行 Tokyō-chochiku Bank.
同 "	東京貯藏銀行 Tokyō-chozo Bank.
同 "	川崎貯蓄銀行 Kawasaki-chochiku Bank.
	合計 二十一行

- (備考) (1) 本表中預金及貸出金は各東京本店並に東京市内各支店
(2) 積立金には行員恩給基金或は使用人退職慰勞金等を含
(3) 日本興業銀行貸出中には興業債券の發行に依る資金を
(4) 日本勸業銀行貸出中には勸業債券發行に依る資金を含
(5) 小池銀行は昭和九年二月末日當所を退社せり

資本金及積立金一覽表 (昭和八年十二月末)
Associated Banks in Tokyo, December, 1933

Head office, Tokyo.

組織 Joint Stockco	公稱資本金 Authorized Capitals.	拂込資本金 Paid-up Capitals.	積立金 Reserve funds.	諸預金 Deposits.	諸貸出金 Bills, Advances and Loans
株式	千円 57,500	千円 57,500	千円 63,391	千円 316,980	千円 210,655
同	20,000	20,000	360	77,608	148,612
同	100,000	62,500	38,000	397,050	171,999
同	100,000	60,000	53,800	341,100	217,053
同	150,000	92,750	62,800	238,292	298,148
同	33,988	23,072	7,200	195,631	169,654
同	10,000	4,000	265	11,634	43,811
同	3,000	3,000	1,283	1,255	1,703
同	5,000	3,000	174	5,039	8,102
同	2,000	1,250	72	928	2,227
同	50,000	50,000	24,415	84,444	333,678
同	108,750	84,626	74,803	28,420	8,628
同	2,000	1,500	416	2,298	2,719
同	10,000	6,250	734	62,187	54,200
同	2,000	1,038	123	9,857	6,335
同	3,000	1,550	409	3,375	3,107
同	5,035	2,072	3,130	116,271	11,221
同	10,000	2,500	230	59,259	67,227
同	1,000	1,000	1,180	45,098	3,818
同	2,000	1,250	1,655	46,911	7,803
同	5,000	3,750	4,155	98,661	42,540
	680,273	482,608	338,595	2,142,298	1,813,240

分の合計なり

まず

含む、尙本月末の興業債券發行總額は 323,840千円なり

まず、但本月分債券發行に依る長期貸付は 344,837千円なり

東京銀行集會所社員銀行
(其二) Capitals and Reserve-funds of the

東京市に支店のみを有する社員銀行之部

本店所在地 Head office.	行名 Banks.
横濱 Yokohama.	横濱正金銀行 Yokohama Specie Bank.
新潟 Niigata.	第四銀行 Dai-shi Bank.
甲府 Kōfu.	第十銀行 Dai-jyū Bank.
富山 Toyama.	十二銀行 Jyūni Bank.
大阪 Ōsaka.	三和銀行 Samwa Bank.
長野 Nagano.	八十二銀行 Hachijyūni Bank.
仙臺 Sendai.	七十七銀行 Shichijyūshichi Bank.
八王子 Hachiōji.	第三十六銀行 Dai-sanjyūroku Bank.
山形 Yamagata.	兩羽銀行 Ryō-u Bank.
大阪 Ōsaka.	住友銀行 Sumitomo Bank.
臺北 Taihoku.	臺灣銀行 Bank of Taiwan.
京城 Keijō.	朝鮮銀行 Bank of Chōsen.
名古屋 Nagoya.	愛知銀行 Aichi Bank.
札幌 Sapporo.	北海道拓殖銀行 Hokkaidō Colonisation Bank.
長岡 Nagaoka.	長岡銀行 Nagaoka Bank.
名古屋 Nagoya.	名古屋銀行 Nagoya Bank.
長岡 Nagaoka.	六十九銀行 Rokujyūku Bank.
名古屋 Nagoya.	明治銀行 Meiji Bank.
横濱 Yokohama.	横濱興信銀行 Yokohama-Kōshin Bank.
大阪 Ōsaka.	日本信託銀行 Nippon-shintaku Bank.
神戸 Kōbe.	神戸岡崎銀行 Kōbe-okazaki Bank.
大阪 Ōsaka.	野村銀行 Nomura Bank.
巴里 Paris.	日佛銀行 Banque France-Japonaise.
浦和 Urawa.	武州銀行 Busyū Bank.
長崎 Nagasaki.	十八銀行 Jyūhachi Bank.
足利 Ashikaga.	足利銀行 Ashikaga Bank.
小樽 Otaru.	北海道銀行 Hokkaidō Bank.
新潟 Niigata.	新潟銀行 Niigata Bank.
	合計 二十八行

(備考) (1) 本表中公稱資本拂込資本及積立金の各金額は當該銀行及市内各支店分のみの數字を示す
(2) 積立金には行員恩給基金乃至使用人退職慰勞金を含ま

資本金及積立金一覽表 (昭和八年十二月末)
Associated Banks in Tokyo, December, 1933

Branch office, Tokyo.

組織 Joint Stockco	公稱資本金 Authorized Capitals.	拂込資本金 Paid-up Capitals.	積立金 Reserve funds.	諸預金 Deposits.	諸貸出金 Bills, Advances and Loans
株式	千円 100,000	千円 100,000	千円 121,250	千円 101,773	千円 30,478
同	16,063	13,563	7,600	1,290	13,947
同	10,400	6,500	2,425	1,476	2,507
同	21,000	13,150	4,710	1,334	11,956
同	107,200	72,200	21,660	81,382	59,662
同	13,312	8,137	2,750	570	286
同	9,000	4,406	250	4,873	3,087
同	3,000	1,500	411	900	1,032
同	3,870	2,895	130	151	449
同	70,000	50,000	28,500	176,350	85,953
同	15,000	13,125	2,354	19,031	57,312
同	40,000	25,000	5,301	16,533	90,578
同	15,000	11,800	10,600	12,881	1,646
同	20,000	12,500	13,306	5,030	5,484
同	9,000	5,842	366	1,725	1,617
同	20,600	13,950	10,260	5,959	4,018
同	12,660	8,731	1,940	1,362	2,469
同	14,200	12,030	—	806	1,043
同	2,000	500	111	703	1,802
同	17,500	17,500	2,805	292	5,871
同	20,000	12,500	5,350	1,919	1,465
同	10,000	10,000	10,350	42,544	27,864
同	1,965	491	611	797	281
同	8,290	8,290	1,430	16,157	21,417
同	15,000	8,625	2,875	601	216
同	7,820	5,360	1,743	2,643	2,795
同	7,800	5,445	2,650	3,556	2,671
同	6,400	6,400	1,180	602	1,092
	597,080	450,440	262,918	503,240	438,998

に於ける各本店銀行のものを示し、預金及貸出金其他は各東京支店
ず

東京銀行集會所社員銀行
Comparative Table of the Returns of
during the Period

年次 Year.	行數 Banks.			拂込資本金 Capitals paid up.
	本店 Head.	支店 Branch.	合計 Total.	
十二月末日 December, 31.				
明治二十年 1887	18	12	30	千円 13,600
同二十五年 1892	18	16	34	33,166
同二十六年 1893	18	16	34	34,176
同二十七年 1894	18	16	34	33,166
同二十八年 1895	20	16	36	35,666
同二十九年 1896	20	19	39	35,391
同三十年 1897	28	21	49	40,570
同三十一年 1898	27	21	48	44,185
同三十二年 1899	30	25	55	47,139
同三十三年 1900	33	31	64	53,012
同三十四年 1901	33	29	62	52,629
同三十五年 1902	30	27	57	53,264
同三十六年 1903	30	27	57	54,311
同三十七年 1904	31	29	60	54,390
同三十八年 1905	33	26	59	57,675
同三十九年 1906	32	26	58	58,415
同四十年 1907	30	26	56	61,007
同四十一年 1908	29	24	53	68,235
同四十二年 1909	29	24	53	82,037
同四十三年 1910	32	25	57	85,737
同四十四年 1911	33	25	58	88,787
同四五大正元年 1912	33	28	61	97,577
大正二年 1913	32	30	62	106,350
同三年 1914	36	31	67	150,812
同四年 1915	36	31	67	150,812
同五年 1916	36	35	71	154,512
同六年 1917	39	36	75	171,260
同七年 1918	41	32	73	199,963
同八年 1919	45	38	83	310,402
同九年 1920	44	35	79	383,500
同十年 1921	48	39	87	420,633
同十一年 1922	47	39	86	455,702
同十二年 1923	43	36	79	510,367
同十三年 1924	42	37	79	527,755
同十四年 1925	40	37	77	519,835
同十五昭和元年 1926	40	38	78	519,835
昭和二年 1927	31	37	68	496,885
同三年 1928	26	32	58	494,298
同四年 1929	21	31	52	529,218
同五年 1930	21	32	53	484,108
同六年 1931	23	31	54	484,260
同七年 1932	21	30	51	482,608
同八年 1933	21	28	49	482,608

(備考) (1) 本表行數中、本店とあるは東京に本店を有する銀行、
(2) 本表中明治二十八年以前の數字には横濱に於ける組合
(3) 拂込資本金及積立金は東京に本店を有する社員銀行の
に在りては本店銀行及市内各支店の分、支店銀行にあ

四十三年間報告比較表
Banks of Tokyo Bankers' Association
of Forty-three Years.

積立金 Reserve Funds.	諸預金 Deposits.	諸貸出金 Bills, Advances and Loans	有價證券 Investments	手許在高 Coins and Notes.
千円	千円	千円	千円	千円
7,386	29,787	23,997	12,500	7,257
13,017	29,650	57,945	28,996	14,264
12,966	36,965	68,029	25,827	13,696
13,716	40,374	72,081	25,211	7,139
15,520	50,492	78,515	29,083	7,743
27,506	52,908	99,703	31,073	6,216
9,181	56,334	74,760	22,478	7,059
6,591	64,204	85,272	43,524	7,328
8,572	93,297	109,824	48,742	10,542
9,513	104,725	133,193	50,272	11,883
11,310	112,773	127,781	52,727	13,828
12,543	126,951	140,693	54,845	16,602
14,089	141,609	153,864	53,780	19,359
15,529	155,065	161,338	66,163	24,047
17,314	174,591	177,048	63,027	28,342
20,862	254,906	248,296	69,058	36,256
29,382	239,125	254,464	66,762	37,153
32,434	223,734	257,811	84,376	33,090
24,852	272,455	277,095	107,357	38,662
34,192	319,757	293,036	123,884	38,438
38,839	331,626	327,583	118,876	39,362
36,588	358,622	355,631	121,352	38,971
41,544	387,273	399,892	117,898	44,652
54,078	448,209	491,736	141,016	60,100
59,269	561,305	532,376	181,758	54,414
64,309	821,026	724,701	223,444	85,074
73,236	1,335,390	1,040,597	250,328	124,782
84,171	1,836,870	1,493,005	391,328	167,577
71,351	1,940,728	1,801,783	402,598	221,958
130,913	1,918,768	2,137,100	534,200	239,184
163,624	2,019,540	2,301,058	740,401	214,333
207,926	2,093,573	2,294,168	721,811	235,030
249,316	2,059,269	2,534,127	760,622	200,203
279,666	2,040,525	2,682,217	822,159	255,309
306,635	2,108,036	2,767,299	876,190	236,175
322,047	2,185,828	2,994,270	922,194	243,964
285,245	2,145,176	2,591,417	1,215,789	255,820
296,472	2,251,123	2,212,601	1,660,785	287,092
315,221	2,233,871	2,297,462	1,690,087	261,941
330,535	2,233,785	2,347,680	1,562,381	245,512
325,596	2,349,293	2,471,537	1,661,988	230,947
322,628	2,446,330	2,556,709	1,847,425	247,371
338,595	2,645,538	2,252,238	2,124,089	260,054

支店とあるは東京に支店のみを有する銀行を示す
銀行の分を含む
みの合計にして預金以下の各勘定に就ては東京に本店を有する銀行
りては東京各支店の分を合算せるものなり

14.8

~~105~~

338.06

T046

